

2007年3月期決算説明会

2007年5月16日

Nabtesco Corporation

当資料の2003年3月期までの経営数値に関しては、旧帝人製機株式会社、旧株式会社ナブコの単純合算値を用いています。

また、掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

第一部

I. 2007年3月期連結業績概況

II. 2008年3月期連結業績見通し

III. 事前警告型敵対的買収防衛策の導入

第二部

精密減速機の特徴とその市場展開

第一部

I. 2007年3月期連結業績概況

II. 2008年3月期連結業績見通し

III. 事前警告型敵対的買収防衛策の導入

第二部

精密減速機の特徴とその市場展開

損益概況 (前期比)



(単位:億円)	2006/3	2007/3	増減	率
売上高	1,474	1,614	140	9.5%
営業利益	148	164	16	10.8%
営業外損益	-3	4	7	—
経常利益	144	168	24	16.5%
特別損益	-1	-1	0	—
税引前利益	142	166	24	16.8%
当期純利益	82	97	15	19.1%
一株当たり 当期純利益	64.05円	77.10円	13.05円	20.4%

一株当たり 配当金	12円	14円	2円
--------------	-----	-----	----

■ 売上高

新規鉄道車両投資の活発化、民間航空機業界の回復、建設機械の旺盛な需要等の好環境により増収。グループ会社の譲渡による減収26億円をカバー。

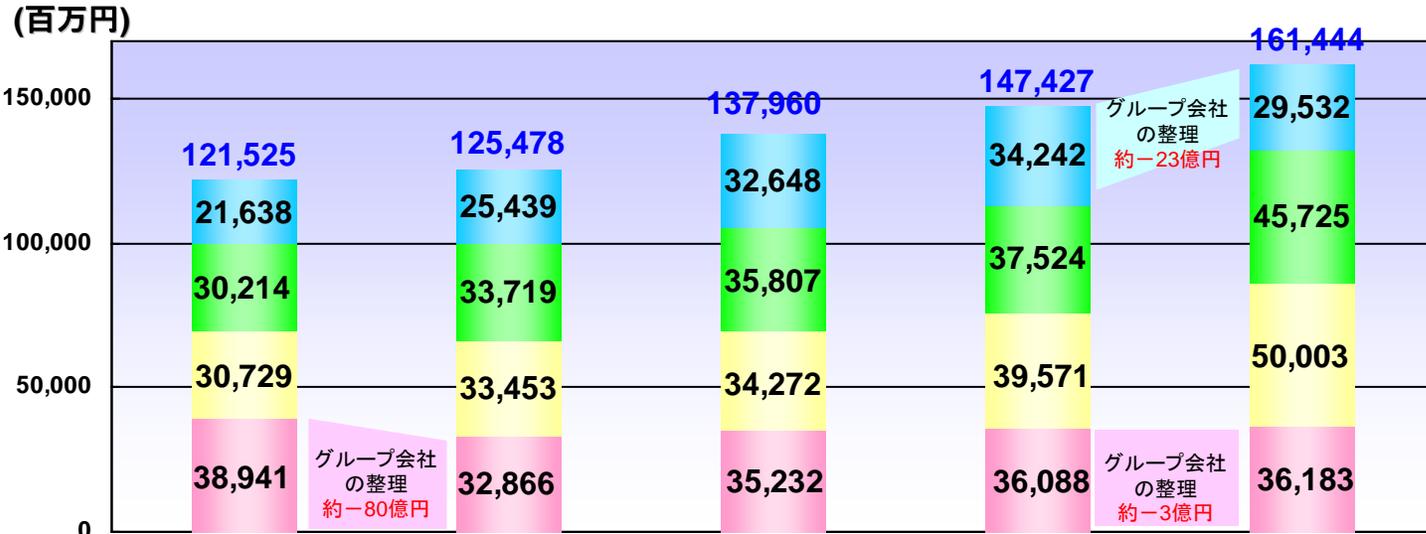
■ 営業利益

売上の増による	16億円
コストダウン及び販売価格影響	16億円
製品保証費用	-11億円
資材費の値上り	-5億円
計	16億円

■ 営業外損益

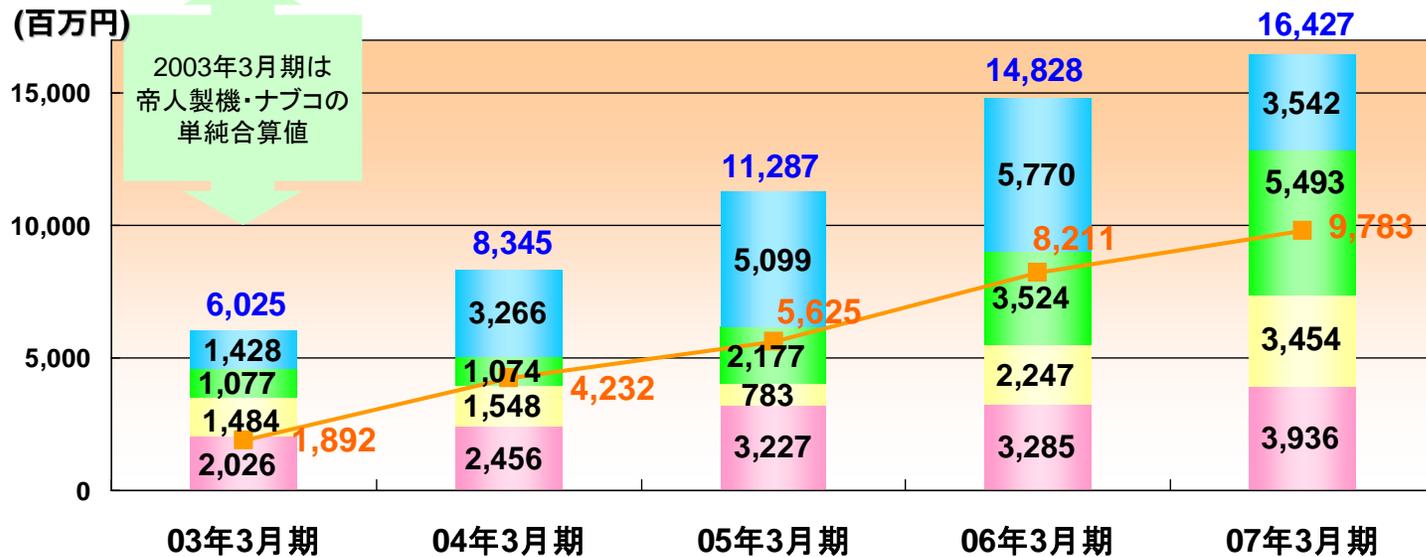
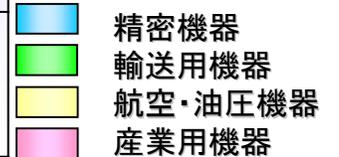
持分法投資利益の増加	5億円
金融収支の改善	2億円
計	7億円

事業セグメント別 売上・営業利益推移



売上高

当初予想	152,000百万円
中間期予想	159,000百万円
当期実績	161,444百万円



営業利益

当初予想	14,500百万円
中間期予想	16,000百万円
当期実績	16,427百万円

当期純利益

当初予想	8,700百万円
中間期予想	9,300百万円
当期実績	9,783百万円

主要製品と顧客 (敬称略)

●精密減速機

ロボット：ファナック・安川電機・KUKA (独)・ABB (スウェーデン)

工作機械：オークマ・ヤマザキマザック・森精機製作所

半導体製造装置：東京エレクトロン

(単位:百万円)	2006/3	2007/3	増減	率
売上高	34,242	29,532	-4,710	-13.8%
営業利益	5,770	3,542	-2,228	-38.6%
営業利益率	16.9%	12.0%		

売上高

当初予想	30,400百万円
中間期予想	29,200百万円

営業利益

当初予想	4,900百万円
中間期予想	3,800百万円

- 産業用ロボット向け精密減速機が低調。(自動車業界の設備投資調整期の影響)
- 工作機械向けは引き続き好調。
- グループ会社譲渡による売上減少約23億円。
- 精密減速機の売上高減少、新工場立上費用、開発費の増加等により減益。

主要製品と顧客 (敬称略)

● 鉄道機器 ブレーキシステム ドア開閉装置

JR東日本・JR東海・JR西日本・川崎重工・日本車輛製造

● 商用車用機器 エアブレーキ周辺機器

日野自動車・いすゞ自動車・日産ディーゼル工業・三菱ふそうトラック・バス

● 船用機器 ディーゼルエンジン遠隔制御装置

川崎重工・三井造船・三菱重工・MAN B&W (デンマーク)

(単位:百万円)	2006/3	2007/3	増減	率
売上高	37,524	45,725	8,201	21.9%
営業利益	3,524	5,493	1,969	55.9%
営業利益率	9.4%	12.0%		

売上高

当初予想	40,200百万円
中間期予想	44,600百万円

営業利益

当初予想	3,400百万円
中間期予想	5,200百万円

- 鉄道車両用機器は国内更新需要増加、中国大型プロジェクト向けも本格化し、売上高増。
- 商用車用ブレーキ装置は国内特需収束も、トラック輸出が増え、売上高前年並み。
- 船用機器は新造船の世界需要堅調、売上高増加。
- 鉄道車両用機器における増収、補修品の増等により増益。

主要製品と顧客 (敬称略)

●航空機器事業 フライトコントロールアクチュエーションシステム

ボーイング・川崎重工業・IHI・三菱重工業・防衛省

●油圧機器事業

走行ユニット: コマツ・コベルコ建機・新キャタピラー三菱・住友建機・ヤンマー建機

風力発電機用駆動装置: 三菱重工・他

(単位:百万円)	2006/3	2007/3	増減	率
売上高	39,571	50,003	10,432	26.4%
営業利益	2,247	3,454	1,207	53.7%
営業利益率	5.7%	6.9%		

売上高

当初予想	45,300百万円
中間期予想	49,100百万円

営業利益

当初予想	2,500百万円
中間期予想	3,400百万円

- 航空機器は民間航空機需要が回復、売上高増。
- 油圧機器は国内外建設機械需要が堅調、特に中国市場の回復著しく増収。
- 風力発電機用駆動装置も躍進。
- 中国建機市場関連が増益に貢献。

主要製品と顧客 (敬称略)

●自動ドア事業

各種建物用自動ドア: 鹿島建設・大成建設・清水建設・竹中工務店・大林組・トステム

プラットフォームドア: ゆりかもめ・東京地下鉄

●包装機事業 食品充填包装機

味の素・日本ハム・大塚食品・ハウス食品・森永乳業・ロッテ・Nestle (スイス)

(単位:百万円)	2006/3	2007/3	増減	率
売上高	36,088	36,183	95	0.3%
営業利益	3,285	3,936	651	19.8%
営業利益率	9.1%	10.9%		

売上高

当初予想	36,100百万円
中間期予想	36,100百万円

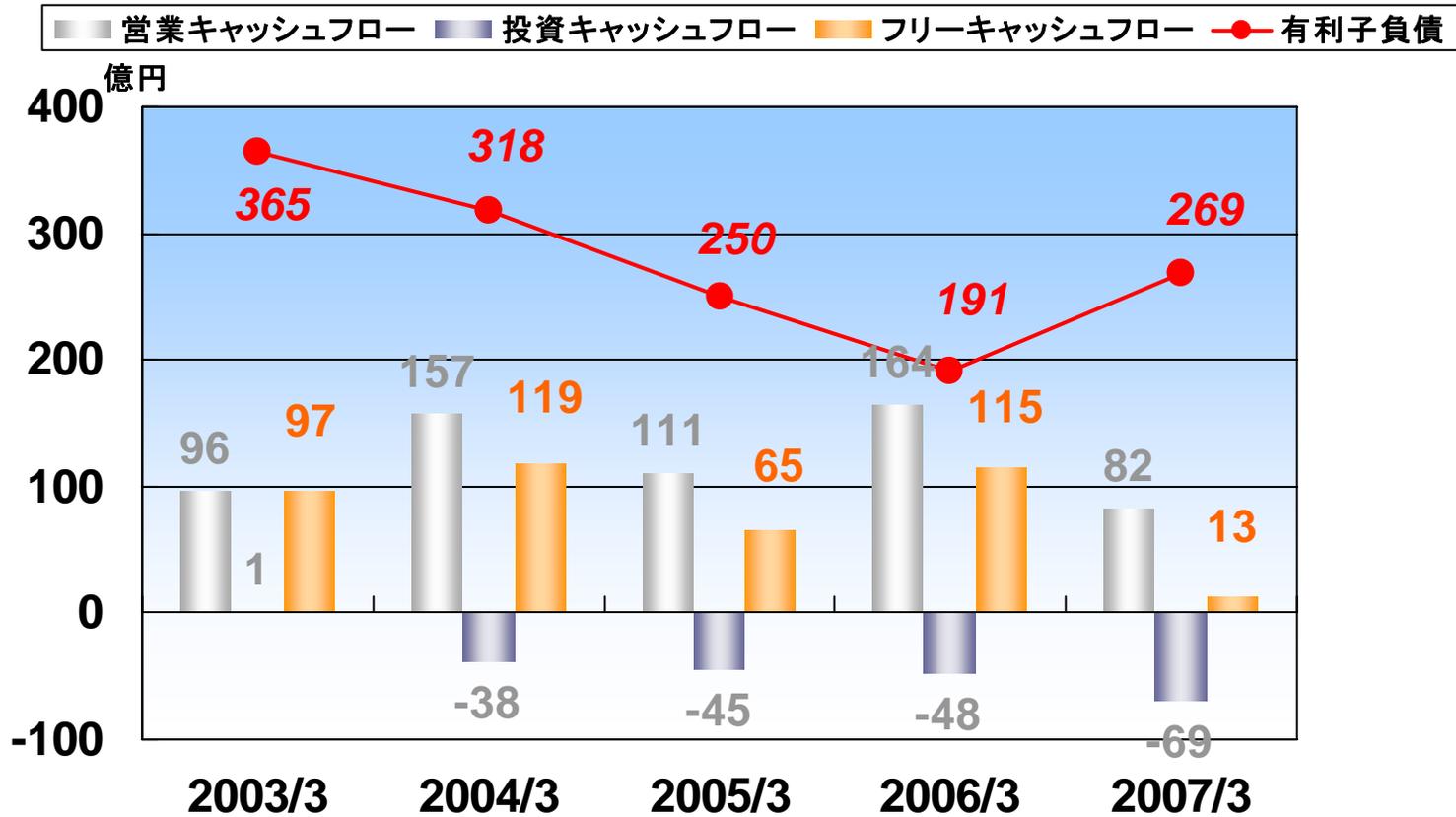
営業利益

当初予想	3,700百万円
中間期予想	3,600百万円

- 自動ドアは主力の汎用ドアが国内外でシェアを拡大し、売上高増。
- 包装機は国内食品向けの減少を輸出がカバーし微増。
- 自動車業界向け等速ジョイント加工機は設備投資調整期の影響を受け、減収。
- 汎用自動ドアの販売増と選別受注により収益性向上。

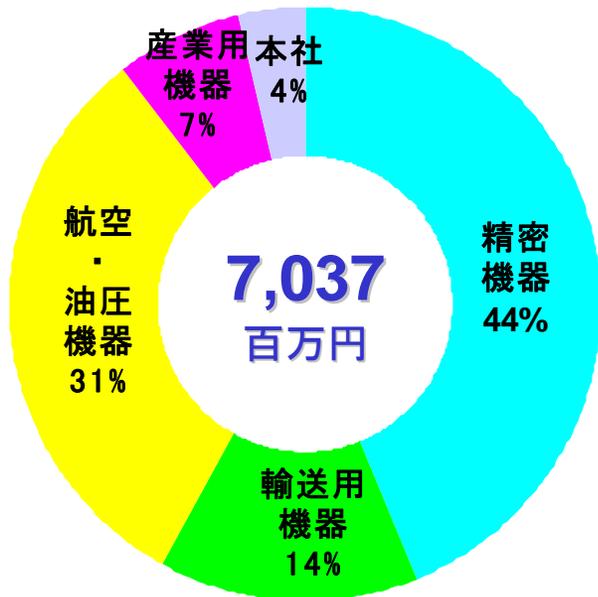
(単位:億円)	2006/3	2007/3	差異	コメント
資 産	1,468	1,632	163	
(現 預 金 等)	188	265	76	
(売 上 債 権)	433	472	39	売上増による
売上債権回転日数	107	102	-5	《参考》
(棚 卸 資 産)	163	180	17	売上増対応
棚卸資産回転日数	37	39	2	《参考》
(有 形 固 定 資 産)	419	436	16	津工場増設等
負 債	789	861	71	
(有 利 子 負 債)	191	269	77	転換社債の発行
純 資 産	679	771	91	
(少 数 株 主 持 分)	37	40	2	

※ 自己資本比率: **43.7%** **44.8%**

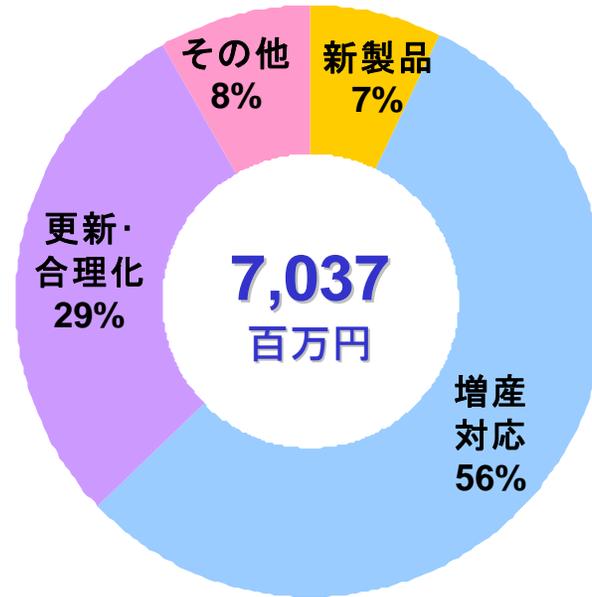


(百万円)	2006/3	2007/3	2008/3計画
設備投資額	4,457	7,037	8,100
研究開発費	3,635	4,023	4,300
減価償却費	4,575	4,896	5,300

セグメント別設備投資額



目的別設備投資額



第一部

I. 2007年3月期連結業績概況

II. 2008年3月期連結業績見通し

III. 事前警告型敵対的買収防衛策の導入

第二部

精密減速機の特徴とその市場展開

損益見通し



(単位:億円)	2007/3	2008/3	増減	率
売上高	1,614	1,650	35	2.2%
営業利益	164	175	10	6.5%
経常利益	168	180	11	6.7%
当期純利益	97	100	2	2.2%

一株当たり配当金	14円	16円(予)	2円
----------	-----	--------	----

■売上高

自動車業界の設備投資回復、鉄道車両の堅調な更新需要、建設機械の好調等の事業環境により増収。
グループ会社の譲渡による減26億円をカバー。

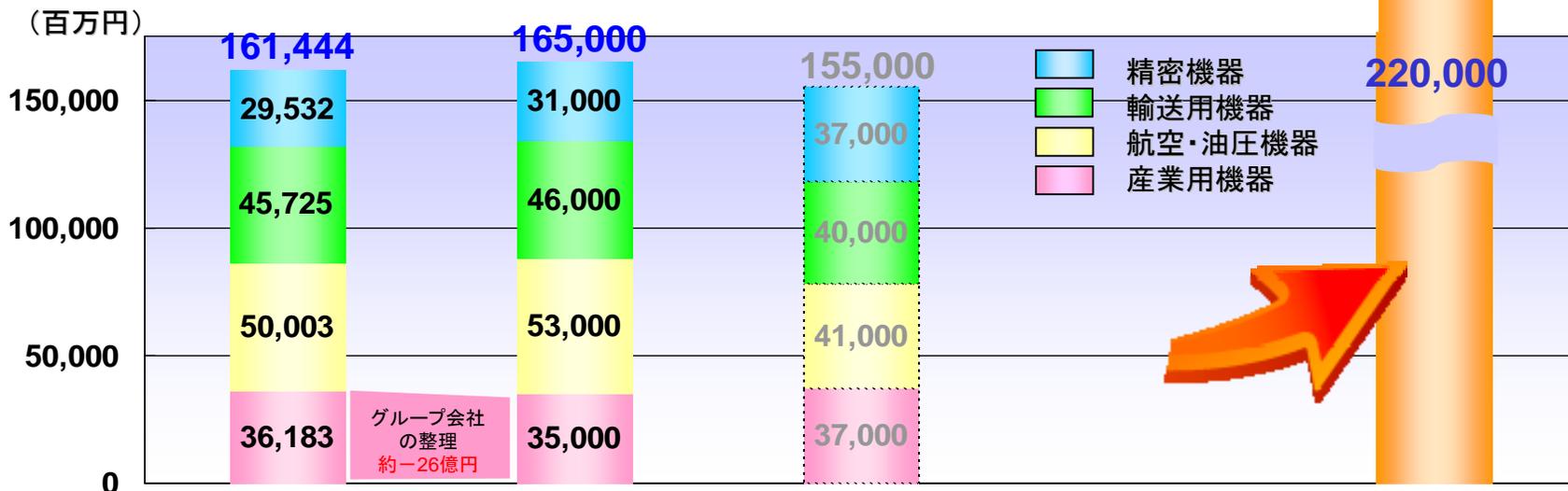
■営業利益

売上の増による	16億円
コストダウン及び販売価格影響	9億円
販管費の増	-15億円
計	10億円

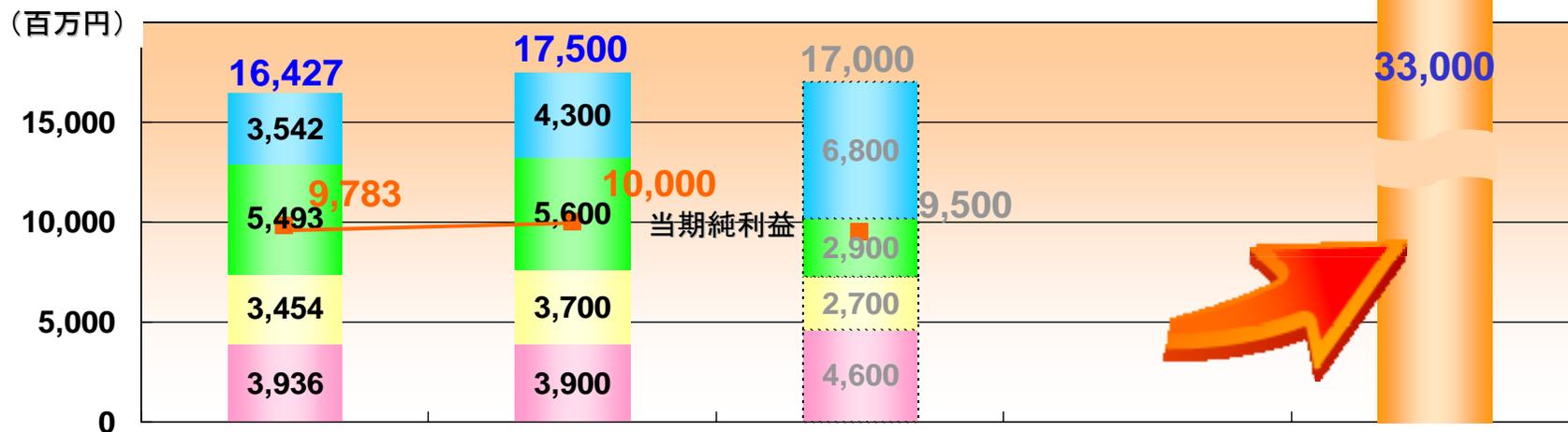
事業セグメント別売上高・営業利益見通し



【売上高】



【営業利益・当期純利益】



2007/3実績

2008/3見通し

(2008/3中計)

2015/3長期ビジョン¹⁵

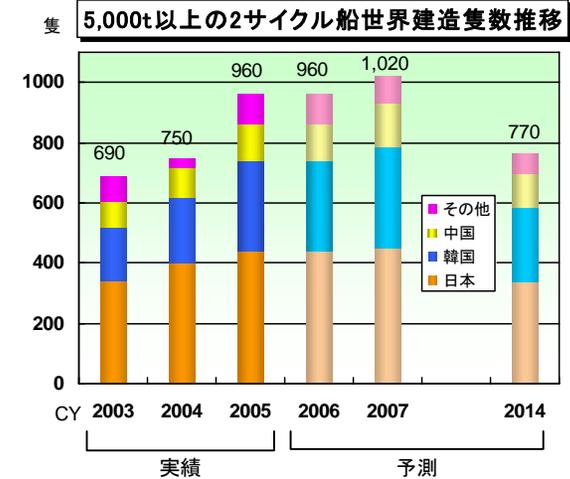
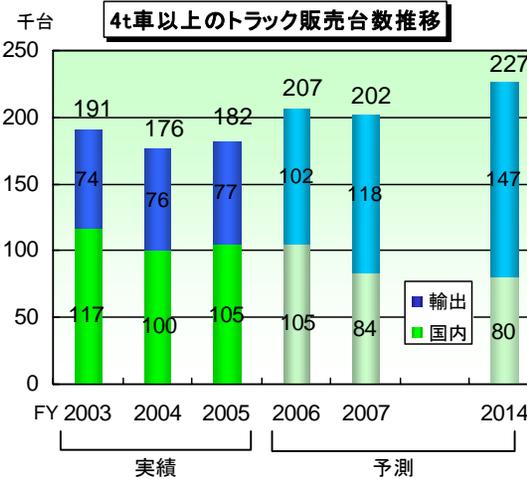
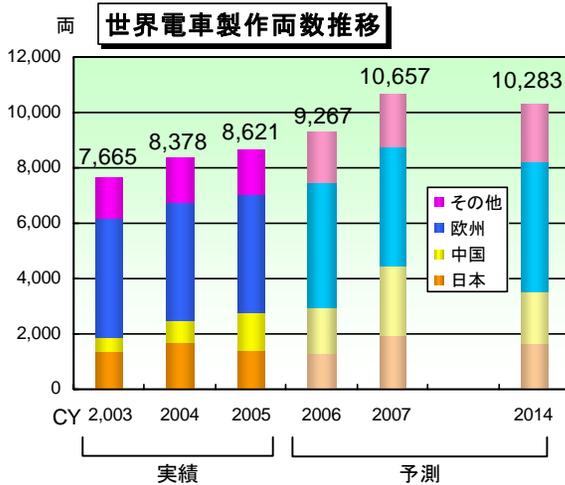


(単位:百万円)	2007年3月期 実績	2008年3月期 見通し	増減	率	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動車業界の設備投資活性化により産業用ロボット向け減速機が回復。工作機械向けも拡大。 ● 津工場増設進展。
売上高	29,532	31,000	1,468	5.0%	
営業利益	3,542	4,300	758	21.4%	
営業利益率	12.0%	13.9%			

長期ビジョン(2015年3月期)達成への施策:

- 海外市場においても成長
- 有望新製品の開発・上市
- 新用途とシステム商品による拡販
- 生産性向上とリードタイムの短縮

図表: 当社調査



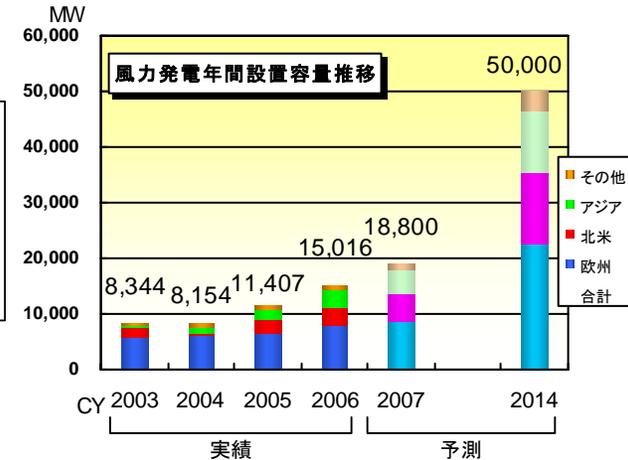
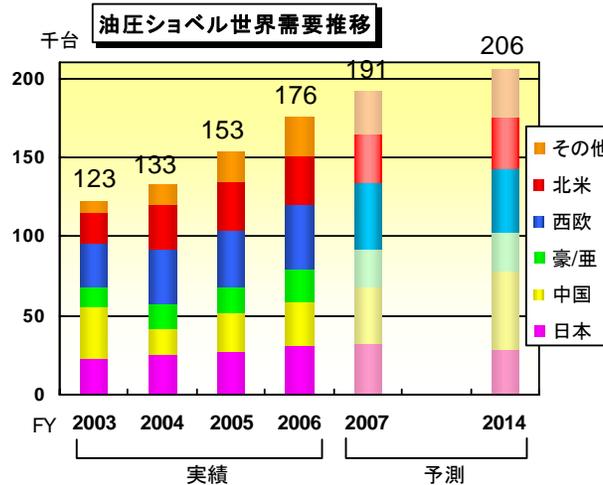
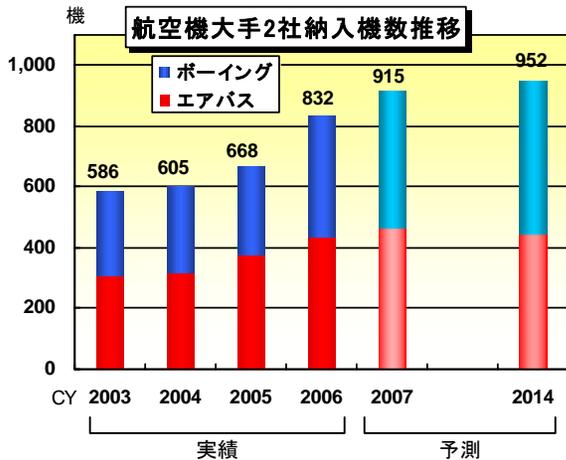
(単位: 百万円)	2007年3月期 実績	2008年3月期 見通し	増減	率
売上高	45,725	46,000	275	0.6%
営業利益	5,493	5,600	107	1.9%
営業利益率	12.0%	12.2%		

- 鉄道機器は中国大型プロジェクト向けの減少を国内更新需要がカバーし、前年並み売上高。
- 商用車用機器は補修品の減少により減収の見込み。
- 船用機器は世界的造船需要拡大が持続し、増収。

長期ビジョン(2015年3月期)達成への施策:

- 海外市場での成長
- 海外向け新商品の投入
- 生産性向上と直接費の低減
- 高付加価値化の推進

図表: 当社調査

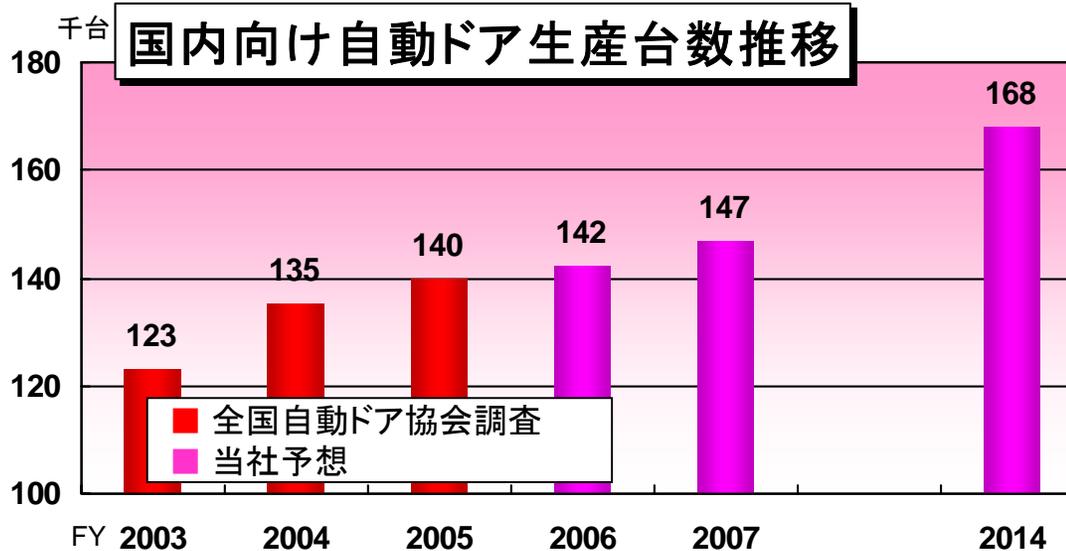


(単位: 百万円)	2007年3月期 実績	2008年3月期 見通し	増減	率
売上高	50,003	53,000	2,997	6.0%
営業利益	3,454	3,700	246	7.1%
営業利益率	6.9%	7.0%		

- 航空機器は民間機向けが貢献し、増収。
- 油圧機器は建設機械の世界的な高需要に支えられ増収。
- 風力発電機用駆動装置も拡大の見通し。

長期ビジョン(2015年3月期)達成への施策:

- 国内外航空機新機種向け製品の量産化と新規プログラムへの参加
- アフターマーケットの強化、生産性の向上、直接費の低減
- 海外市場への積極展開
- 風力発電機用駆動装置ビジネスの拡大



(単位: 百万円)	2007年3月期 実績	2008年3月期 見通し	増減	率	
売上高	36,183	35,000	-1,183	-3.3%	● 海外子会社の売却による売上高減約26億円。
営業利益	3,936	3,900	-36	-0.9%	● 自動ドアのシェア維持。
営業利益率	10.9%	11.1%			● プラットフォームドアは海外を主に増加。
					● 包装機械は輸出が増加の見通し。

長期ビジョン(2015年3月期)達成への施策:

- 国内市場でのシェアアップと米・中での拡販、サービス機能強化
- プラットフォームドアの国内外拡販
- 包装機械の海外市場展開

目標とする経営指標



	2008年3月期見通し	2008年3月期 《中期経営計画最終年度》
売上高	1,650億円	1,550億円
当期純利益	100億円	95億円
ROE	13.0%	15%
ROA	6.2%	8%
フリーCF	223億円(3カ年累計)	250億円(3カ年累計)
D/Eレシオ	0.29	0.05

(2005年5月公表)

第一部

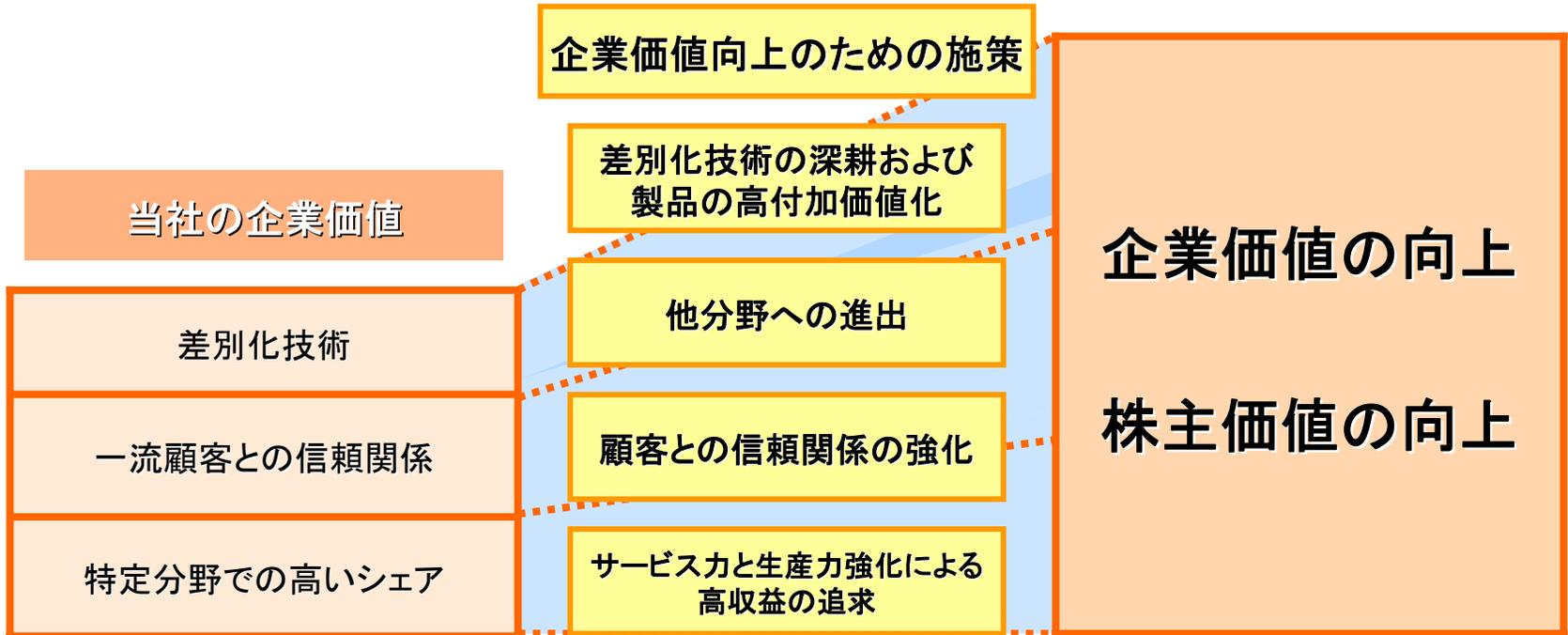
I. 2007年3月期連結業績概況

II. 2008年3月期連結業績見通し

III. 事前警告型敵対的買収防衛策の導入

第二部

精密減速機の特徴とその市場展開



買収防衛策導入の目的 = 企業価値向上を毀損する買収者の排除

1. 大規模買付者の企業価値向上策を十分検討するための時間を確保。
(取締役会評価期間の確保 60営業日)
2. 株主の皆さまによる大規模買付目的と当社企業価値向上策の比較検討。
3. 顧客・取引先への影響を最小限にとどめる。

第一部

I. 2007年3月期連結業績概況

II. 2008年3月期連結業績見通し

III. 事前警告型敵対的買収防衛策の導入

第二部

精密減速機の特徴とその市場展開

当社製品をよりご理解いただくために

Nabtesco

ナブテスコ主力7事業 (単体)

精密減速機

鉄道車両用機器

商用車用機器

船用機器

航空機器

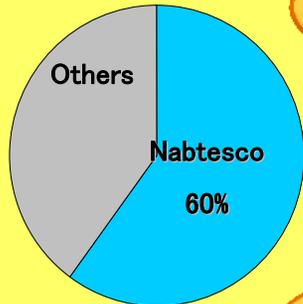
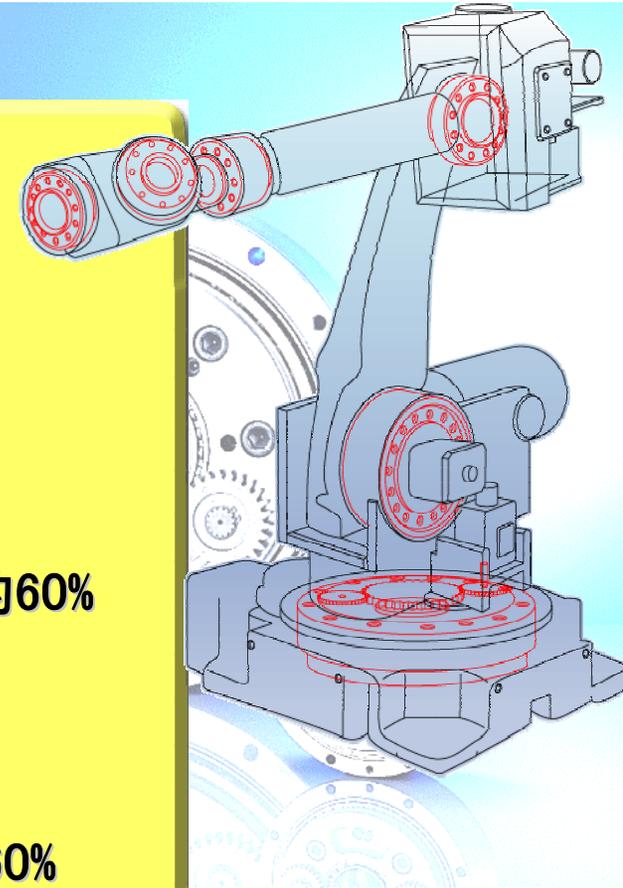
油圧機器

自動ドア

精密減速機の特徴と その市場展開

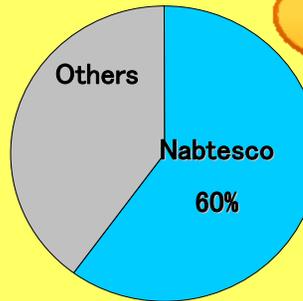
ナブテスコ開発企画部

精密減速機



No.1

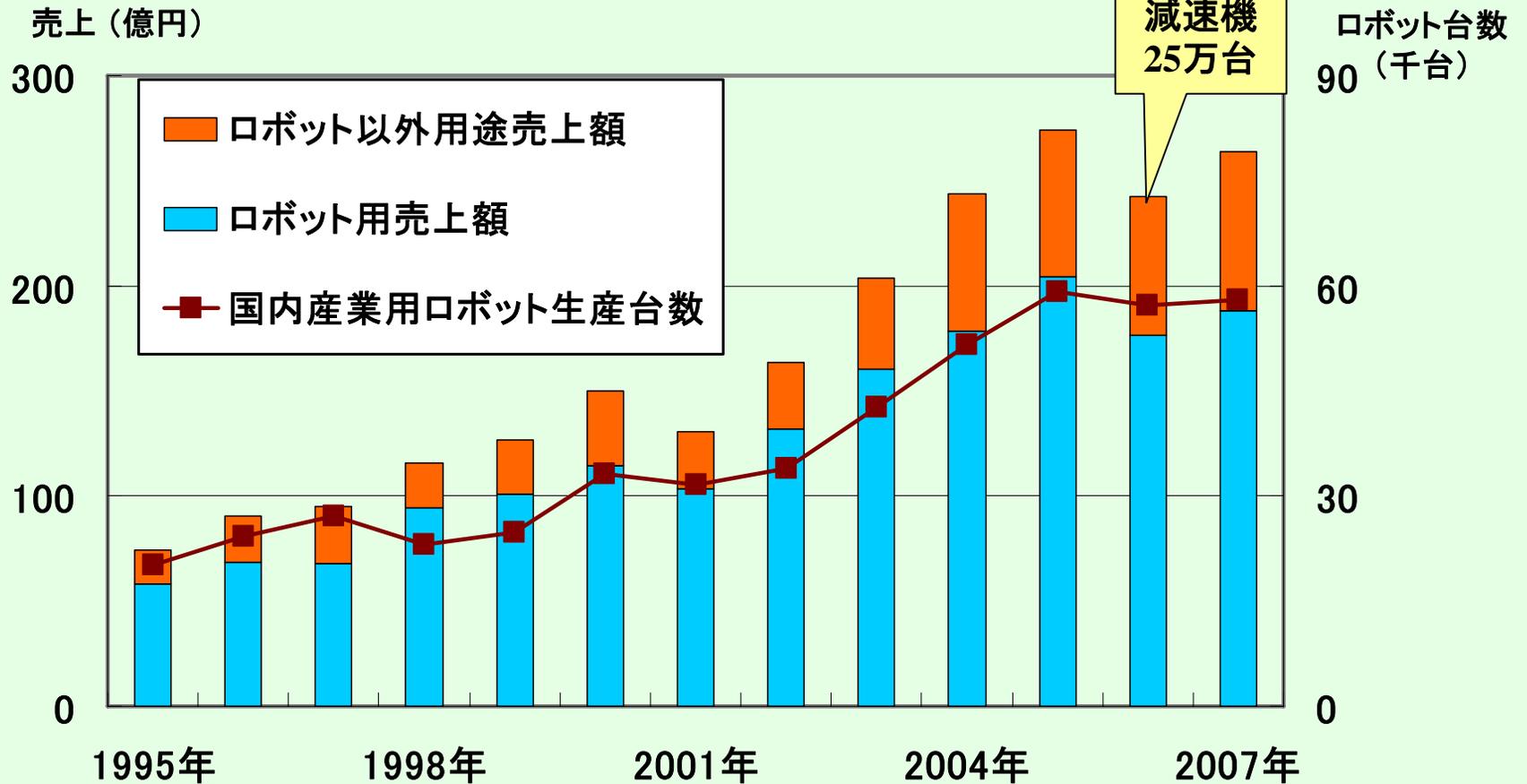
産業用ロボットの関節用途世界シェア約60%

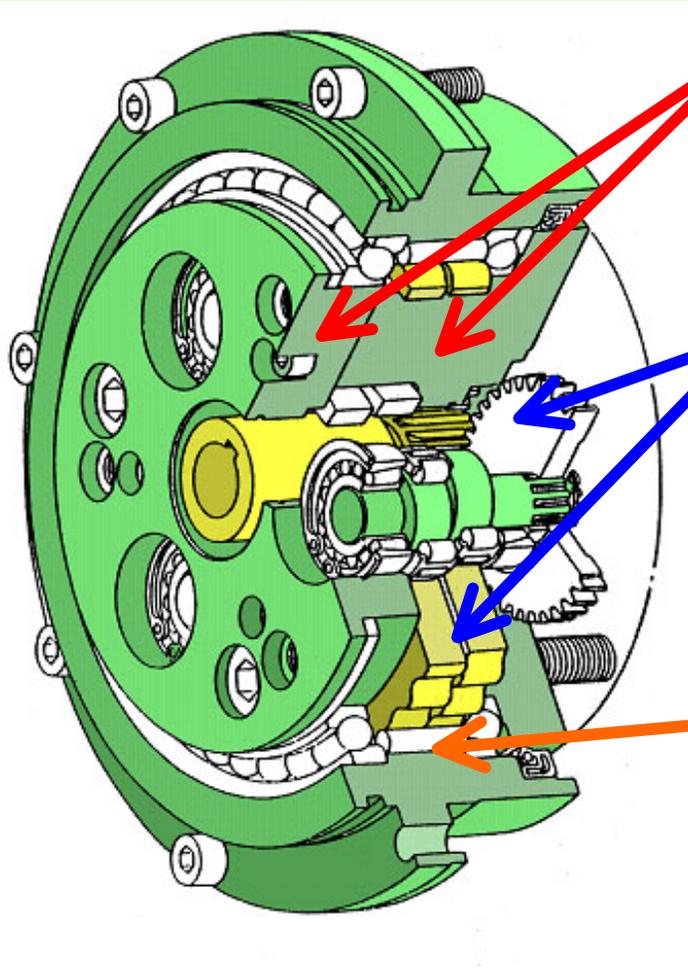


No.1

工作機械 ATC駆動分野国内シェア約60%

売上高の推移（精密減速機事業）





①両持ち支持機構

- 剛性が高い

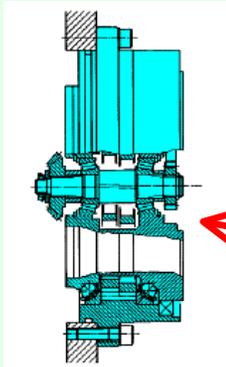
②2段減速機構

- 精密な回転
- 減速比範囲が広い

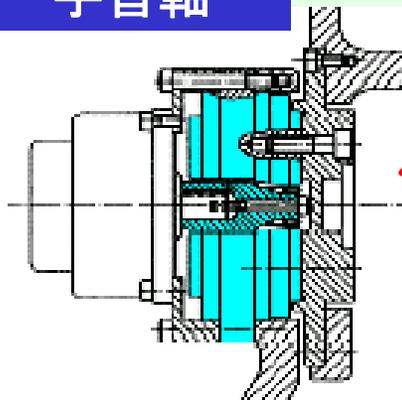
③ピン歯車機構

- 過負荷に強い
- 大減速が可能

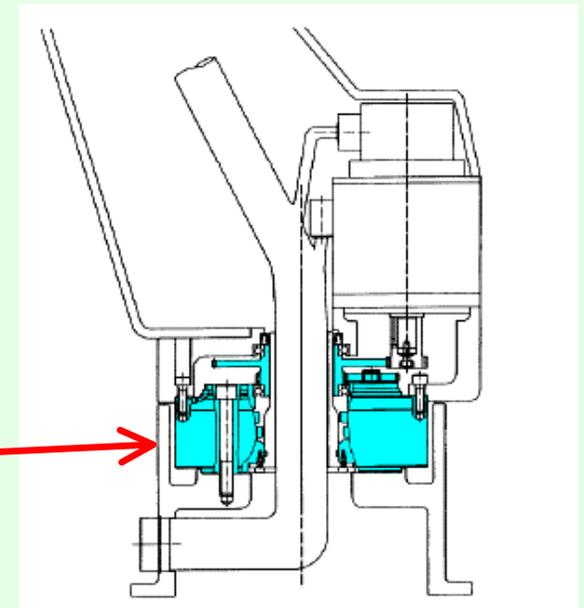
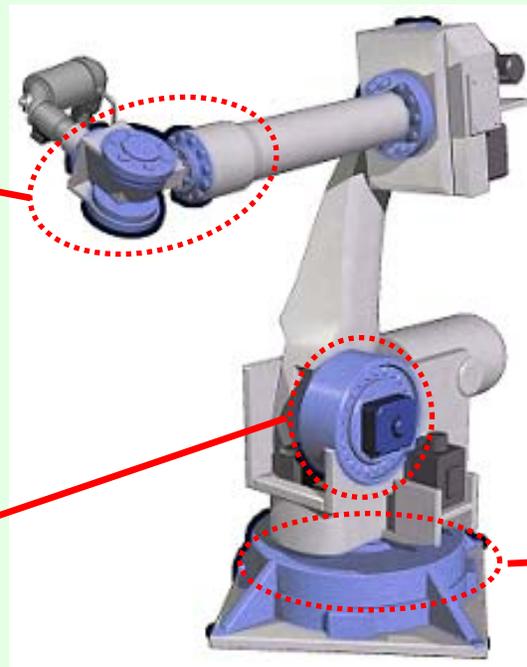
ユーザー：
ロボットメーカー（ファナック、安川、不二越、KUKA、ABB・・・）



手首軸



重力軸



旋回軸

ロボット用減速機のロードマップ



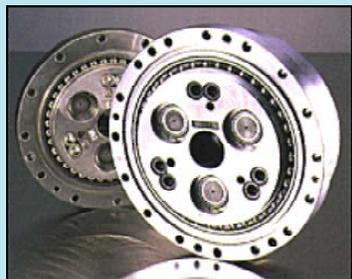
	2006年	2007年	2010年 - 2014年
自動車の生産システム	人によるセル生産	加工・組立ロボットセル	 <p>(図: 経済産業省資料より)</p> <p>人とロボットの混成作業</p>
	革新ライン(ライン長1/2)		
ロボット	双腕ロボット・ヘビ型ロボット		車輪自走双腕ロボット
	設置面積の縮小	知能化・協調作業	高信頼性化
減速機	<ul style="list-style-type: none"> ・手首軸用 ・高出力密度 ・扁平型 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コンパクト型 ・新中空型 	次世代型

適用用途

工作機械
割り出し

搬送

ポジショナー



標準シリーズ



中空シリーズ

アクチュエーター化



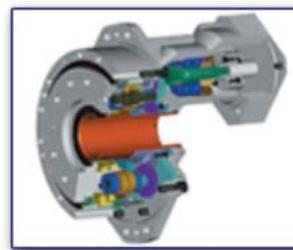
AR,UP シリーズ

出力回転高速化



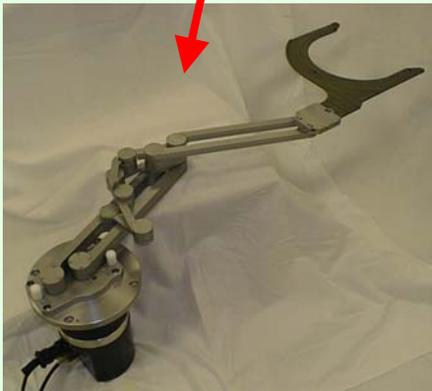
GH シリーズ

取付簡易化



RD シリーズ

半導体製造装置

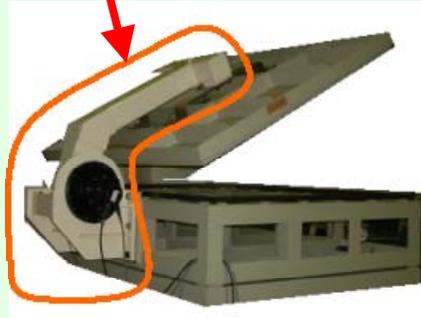
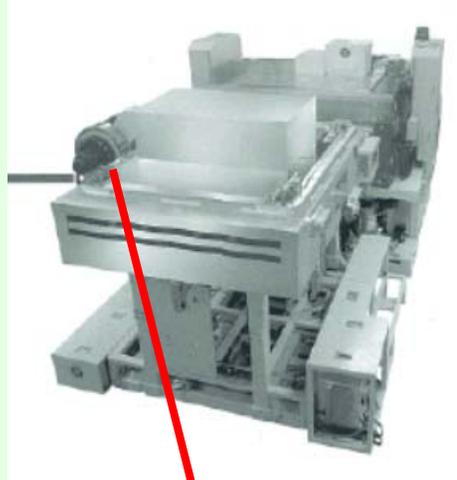


ウェハー移載装置



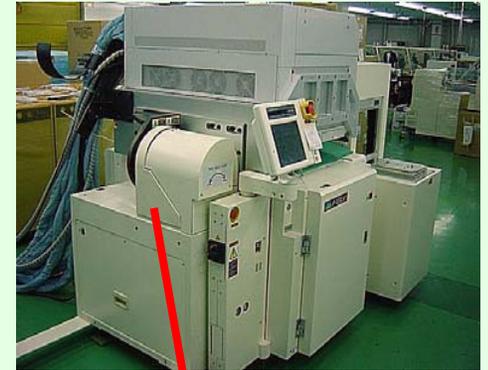
液晶移載装置

FPD製造装置



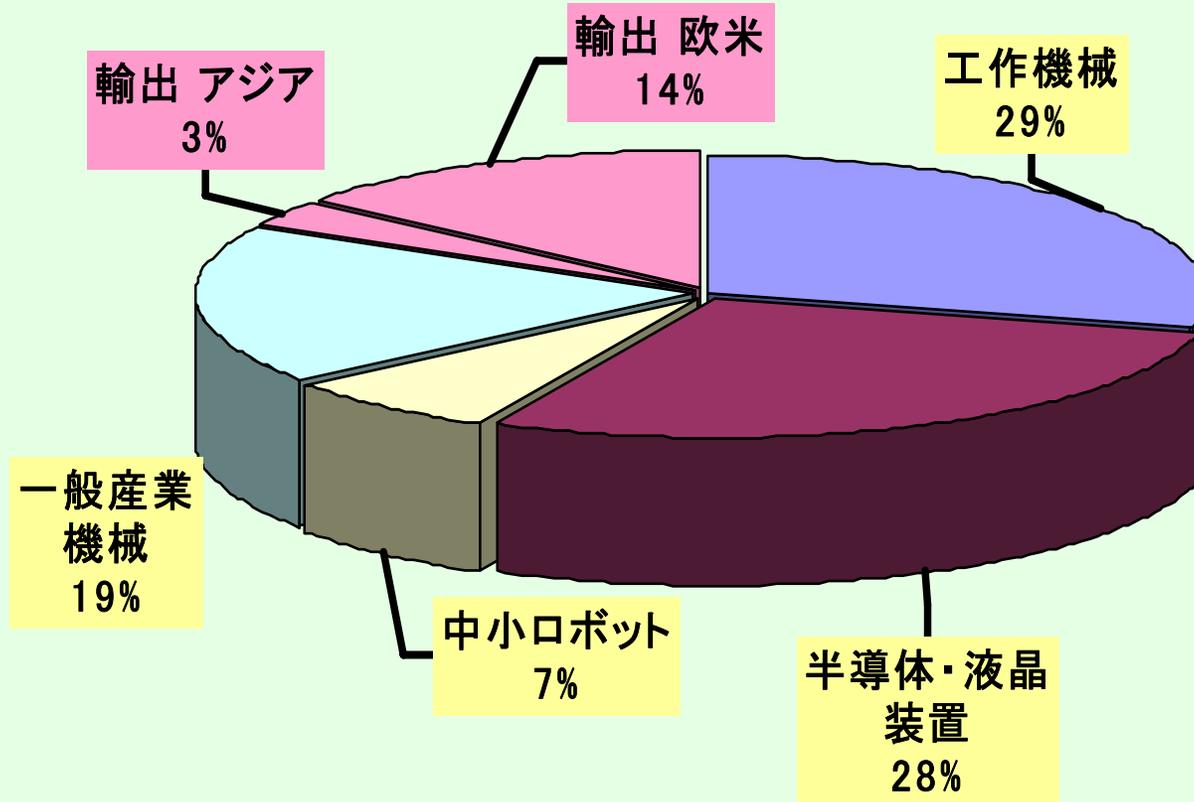
液晶チャンバ-蓋開閉装置

半導体検査装置



ウェハーテストヘッド'移動装置

売上総額: 66億円(2006年度)



↑ 技術 (メカトロ、高精度化・・・)

新技術(新商品)による用途拡大

減速機技術
深耕

ロボット・FA市場

・RV減速機

・AR(サーボアクチュエータ)

工作機械・
FA市場

ユニット化

半導体・
FA市場

アクチュエータ
システム

新市場

複合化

市場

Nabtesco